



議会だより はとやま

Hatoyama



埼玉県鳩山町議会発行

No. **162**

2023.11.1発行

9月定例会報告

特集「決算 ここを評価！ここが課題！」…	2～	3
土日・町外運行で足を確保		
定例会報告・町長に問う！総括質疑…	4～	6
町政を問う！一般質問11議員が質問…	8～	13
まちづくりカフェ開催のお知らせ	……………	15
常任委員会レポート 視察研修報告…	16～	17
シリーズ いま、それ、気になるHATOYAMA vol.2		
「地域福祉懇談会」		
議会クイズ・編集後記	……………	18

ここが課題!

決算審査特別委員会で審査しました。
メンバーは10人です。(議長はオブザーバー、議会選出監査委員は説明員のため、この中には含まれません。)
質疑後、議員間で自由討議を行い、評価すべきところ、課題など意見を出し合いました。
議員一人ひとりの決算に対する思いをお知らせします。



重点施策に財源を 清水 秀幸 議員

新型コロナウイルスの流行は、ほぼ収束したと考えてよく、国からの交付金を財源とした子育て世帯や、町内事業者への支援事業については評価できる。少子高齢化、定住促進を図るべく重点政策については、より予算の振り分けを取り組む必要がある。ただし、財政健全化は必須。

重要課題に投資対効果は? 関根 清隆 議員

DX等、新しい施策の事業に取り組んだ点は評価できる。しかし、予算どおり丸投げし、補助金を渡しただけでは効果が判らない。町の重要課題である人口減少対策、高齢者福祉、子育て支援などへの期待された効果が認められず、決算審議としての認定評価はできない。投資対効果を考える町政を求める。

若手職員に挑戦の機会を 中山 明美 議員

町制施行40周年行事では、若手職員がそれぞれの課からプロジェクトチームを組んで取り組んだとのこと。みんな担当を持ち、責任を持って取り組んだことと思う。議会だよりの取材をしたときの生き生きとした姿が印象に残っている。



若手職員の力で、更なる活性化を

寄附金活用で農業振興を 小鷹 房義 議員

令和4年度はふるさと納税で日本各地から約2千万円の寄附金をいただいた。その財源を農業の発展に活用し、さらなる活性化につなげたい。町には今後とも農家への支援をお願いしたい。

少子高齢化社会に適応を 森 利夫 議員

公債費負担比率が2年連続で微増した。税収が減少傾向にある中で、数年前まで続いた「借金による箱もの行政」の影響が重くのしかかる。子ども子育て支援はある程度評価できるが、お年寄りの日常生活支援総合事業等になる予算が必要だ。

まちと地域の活性化を 松浪 健一郎 議員

少子高齢化が進む当町で、子育て世代が移住したくなるような、積極的な施策が決算の中で見あたらなかった。箱物は完成したが、それを利用して活性化するためのソフトの施策が見えない。コロナ禍で、厳しかったのは分かるが、町民が楽しく安心して過ごせる施策が欲しい。



様々なイベントの活用で、まちの活性化につなげたい

自由討議から 町に対する 意見・提言

■ふるさと納税について

当初予算が4500万円で決算額2000万円という結果だった。全国幸福度ランキング1位という注目の割に、寄附額が増加しなかったことに対し、もっと魅力のある返礼品を研究してほしい。

職員が多忙な業務のなかで研究ができないのなら、外部コンサルなどに相談することも一つの方法ではないか。

やはり肉や米が人気ということなので、鳩山産の米をもっとPRできないか。

■不正事件について

令和3年度は元職員の不正事件に大きく揺れた1年だったが、令和4年度は今までできなかった入札制度の改善が図られ、電子入札制度への移行も問題なく開始できたことを評価する。

令和4年度 決算

ここを評価!

町民を守る災害対策を
石井 計次 議員
昨年7月の豪雨災害により災害復旧費に約2億円を支出したが、地方交付税（復旧事業債）・普通交付税の追加を受けられ取り崩した財政調整基金（貯金）へ、ほぼ戻すことができた評価される。課題として、鳩川・越辺川合流点の早期改修を。



更に住民と共にまちづくりを
野田 小百合 議員
40周年事業など、住民や若手職員の力を活かした取り組みが展開された。更にいろいろな技術・知見を持ってもらえる住民の力を活かしていきたい。小さな町だからこそできる町民と行政の温かな思いのキヤッチボールを。

まだまだ厳しい町の財政
大賀 広史 議員
町の貯金ともいえる財政調整基金をこの10年で最高の7億円まで積み上げたことは、評価できる。しかし、公債費（借金返済額）は過去最高6億6000万円、実質公債費比率も過去最高の11%を超えており、将来世代への負担は避けられないのが現状だ。



アイデア工夫で、売り上げのアップを（ちよくま）

補助金とちよくまに課題
根岸 富一郎 議員
歳出は59億だが、翌年度繰入額4億円を引き、新型コロナ交付金2億円と災害復旧費3億円で、仕事をした金額は50億円程度だ。総務省から補助金が入ったが、マイナポイント補助金の使い方と、ちよくまの収支報告が出ていない。



町債残高削減の継続を
日坂 和久 議員
【議会選出監査委員】
町の借金である町債は、豪雨災害の影響による災害復旧事業債が増加したが、町債残高削減計画に基づき、発行は抑制傾向である。将来負担比率と実質公債費比率の下降が望まれる。ここ数年間は、必要以上に金を使うより、貯める時代であろう。

自主財源の獲得が必要
石井 徹 議員
7月12日豪雨災害の復旧が激甚災害に指定されず、一部を除き財政調整基金の貯えで復旧できたことは良かったが、歳入では、町法人税の減少、ふるさと納税の予算との大きな乖離、企業誘致等の自主財源獲得に大きな課題を残し、今後の町独自の住民福祉やサービスが心配。

- 予算に対する行政効果について
町の提示する概要説明資料には、新規、主要事業の成果及び評価並びに改善点が挙げられているが、成果ばかりで、改善点についてはほとんど記述がない。反省点があれば次の施策に生かせない。
- 補助金の交付について
町は各種団体に補助金を交付しているが、会計監査で終わりにするのではなく、補助金が適正に使われたのかどうかもチェックしていかねばならない。
- 町制施行40周年記念事業について
限られた予算の中、若い職員による活発なプロジェクトチームを組んで実施したことは大変良い試みで、成功して良かった。
- 農業支援について
減農薬栽培等奨励金では、県の認証で、水田で作付けされた大豆の生産農家を対象とした補助金があるが、もっと減農薬等で頑張っている農家を応援するような仕組みが欲しい。



土日・町外運行で足を確保



令和4年度一般会計・特別会計等決算を認定!!

一般会計決算 歳出59億971万円

「はとタク」増車

第3回定例会

令和5年第3回定例会が、9月5日から15日までの11日間にわたり開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの1件、令和4年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算認定に関するもの7件、令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分に関するもの1件、令和5年度一般会計及び特別会計等補正予算の議定に関するもの4件、町道路線の廃止・認定に関するもの1件、人事案件に関するものが2件の合計16案件で、全議案とも可決、認定、同意されました。また、請願が1件提出されましたが、不採択となりました。

町長に問う!

総括質疑 2議員が登壇

決算審査特別委員会の設置に先立ち、令和4年度の決算については町長に総括的な質疑を行いました。議員本人が要約し、執筆した原稿を掲載しています。

大賀 広史議員

令和3年の談合事件

問 令和4年度は再発防止に取り組んだ1年とのことだが、これで官製談合事件の処理は終わったと考えているのか。

答 有罪となった元職員へ給与自主返納通知書(220万円)を送付し、その後2度の催告を行ったが納付がない。次に入札妨害で立件された元社長の控訴審が、今年の6月23日に確定したこと、町として違約金請求の検討中。

※後日の全員協議会で、会社に対し、約1億5000万円の違約金請求をするという説明がありました。

根岸 富一郎議員

町はなぜ指定管理が必要か。

問 町はなぜ指定管理が必要か。

答 多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、民間ノウハウを活用し住民サービスの向上と、経費の削減を図る。

問 どんなことに指定されてきたか。

答 地方自治法に基づく公の施設管理運営には、議決も必要。

問 住民がチェックできる(収支報告など)システムができないか。

答 町の監査対象となっている。

問 第三者機関の監査を置くことはできないか。

答 不正事件等があれば別だが、現状の、監査をしていたのが適切。

決算審査 特別委員会

令和4年度 一般会計決算

歳入

地方交付税

問 2億4000万円の増額要因は。

答 高齢者の保健福祉費の算定結果が想定よりも上回ったこと、令和4年の大雨災害に係る災害復旧費などが要因。

問 法人町民税の減少が際立っているが、要因は。

答 法人が減少しているわけではなく、原材料及び原油価格高騰の影響で減収だったと考えられる。

歳出

若者生活支援特別給付金

問 対象年齢と人数は。

答 高校生から大学生等まで、668人、対象者



のうち99・6パーセントに支給できた。

団体等への補助金

問 町社会福祉協議会に支出した補助金、委託金の総額はいくらか。

答 約4億6348万円

で、今後実施事業について議会に報告する。

問 シルバー人材センターに対し、町の補助金及び委託料の概算総額は。

答 町補助金530万円、国補助金530万円ほか、約4068万円の受託事業費だ。

空家等対策協議会

問 これまで年1回程度の開催では、空き家対策は進まない。

答 今年度は特定空き家の判定や計画の更新があり、会議回数を4回予定している。

令和4年度一般会計決算（歳出）			
民生費	29.9%	17億6,707万円	
総務費	23.2%	13億6,945万円	
衛生費	11.4%	6億7,449万円	
公債費	11.2%	6億6,421万円	
教育費	8.0%	4億7,520万円	
消防費	5.2%	3億 905万円	
土木費	4.8%	2億8,369万円	
農林水産業費	3.2%	1億8,644万円	
議会費	1.4%	8,083万円	
その他	1.7%	9,928万円	

※その他は、災害復旧費、商工費、労働費などです。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

令和4年度一般会計決算（歳入）			
地方交付税	28.0%	17億8,898万円	
町税	26.4%	16億8,665万円	
国庫支出金	13.2%	8億4,018万円	
県支出金	5.5%	3億5,402万円	
繰入金	4.6%	2億9,631万円	
地方消費税交付金	4.6%	2億9,567万円	
繰越金	4.5%	2億8,985万円	
分担金及び負担金	4.3%	2億7,177万円	
町債	2.3%	1億4,423万円	
諸収入	1.5%	9,791万円	
その他	5.1%	3億2,079万円	

※その他は、ゴルフ場利用税交付金、地方譲与税、財産収入などです。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。



園児・児童の置き去り防止を

問 どのようなものか。
答 送迎バス車内置き去り事故を防ぐため、センサーに触れるとクラクションが鳴るシステム。

問 例年通り、図書資料の購入は行っているか。
答 購入は行っているが、紙ベースの図書資料の購入はなくなるか。

問 デジタル図書館の書籍購入費に対し、紙ベースの図書資料の購入はどうか。
答 購入は行っているが、紙ベースの図書資料の購入はなくなるか。

問 事業者が一定の負担をしながら施設運営を行っているが、管理代行料ではマイナスが生じている状況とのことだ。
答 事業者が一定の負担をしながら施設運営を行っているが、管理代行料ではマイナスが生じている状況とのことだ。

問 管理代行料として町から2300万円の支出と121万円の芝生管理費を支出しているが、管理者の収益はどうか。
答 事業者が一定の負担をしながら施設運営を行っているが、管理代行料ではマイナスが生じている状況とのことだ。

ちよつくまの運営

問 居宅介護サービス給付金4億665万円だが、今後も自宅での介護で生活される方が増えるのか。
答 コロナ禍が終息してくると、施設入所も増えてくると考えられるが、各家庭やご本人の希望に沿う形で給付ができればと考えている。

後期高齢者医療保険 特別会計決算



問 高額医療費負担金、1億3142万円、どのような疾病が多いか。
答 医療費が一定のラインを超えた場合に適用されるもので、全体的に言って脳梗塞のような疾病から長期入院に至るケースが多い。

国民健康保険 特別会計決算

問 支出済額59億円に対し、繰越額や不用額が多く、実質の支出は50億円程だ。総務省から補助金が入ったが、個人番号カード、マイナ補助金などの使途について反対する。
答 上熊井農産物直売所の収支報告が個別に出ないことに反対する。（根岸）

問 予算に対する行政効果の観点から考えた場合、町の評価は甘く、改善点が見えてこない。旧来の自治体モデルではなく、企業経営モデルを導入して、費用対効果を考えるべき。業者に丸投げ、補助金のバラマキではなく、結果を出すための取り組みを期待する。（関根）

問 給食費や保育費の減額など子育て支援は評価するが、高齢者福祉は日常生活支援などの事業に変化がなく、停滞している。ちよつくまや泉井交流体

〈反対討論〉

町政40周年記念事業を若い職員を中心としたプロジェクトチームで取り組んだことは大いに評価できる。デマンド交通の土日運行、町外運行も評価する。高校生・大学生等への給付金も、若い世代へ目を向けた、良い取り組みだった。（中山）

ワクチン行政、個人番号制度など国の強引な姿勢に対し、町が受け止めるを得ない状況には納得がいかないが、町制40周年記念事業、不正事件を発端として大きな庁内改革ができたことを評価する。一方で職員の負担が過重になっていないか気にかかる。（野田）

試験エリアは、多額の費用で整備したうえ、毎年3000万円もの管理料がかかる。これら施設が活性化につながるよう、反省を促したい。（森）

〈賛成討論〉

個人番号の利用に関する条例の一部改正

問 介護に関しては、既に行われているのか。

答 マイナンバーカードとの情報連携という面に関しては行っていない。

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

問 財政調整基金の残高、目標は。

答 実質的には7億3500万円程度。標準財政規模の20パーセントぐらい、大体8億円近くを目標にしている。

問 財調残高が積み上がり、と地方交付税のほうにも影響が出るのでは。

答 若干、交付税の交付措置を見直すというような話もある。ある程度考慮する必要がある。

問 アライグマの捕獲器10万5000円、何器購入するのか。

答 新たに6器。本年の8月末で、アライグマの捕獲が118頭。昨年に

比較して、数量的には伸びていて、200頭に迫る勢いの捕獲実績になっている。

問 空家等対策協議会委員の報酬(9人分)16万2000円。何回、会議を増やすのか。

答 3回分の委員報酬を計上している。

問 特定空家等判定委員会、会議開催実績と開催予定は。

答 今月中に1回予定をしている。この中で特定空き家の判断基準を協議するという形で今考えている。

問 学校給食費の財源が企業版ふるさと納税寄附金ということ。どこの企業が行ったのか。

答 合同会社ラビット(愛知県名古屋市中)。訪問介護、訪問看護コンサルなどを行っている会社から10万円の寄附をいただいた。

問 次の予定はあるか。
答 12月の補正で、1件入る予定。

附帯意見

請願権は憲法第16条に規定された権利である。紹介議員を介して、請願を提出されたことは重く受け止める。しかし議員個人に対する内容でもあり、鳩山町議会として判断することが難しい問題をはらむものであると考える。

議会は“言論の府”と言われ、会議原則の第1に「発言自由の原則」が挙げられている。議員は職責を果たすために、様々な角度からの発言を行う。これを制限することはできない。

一般質問は、町の一般事務について、議長の許可を得て質問ができる。議場においては、議長が問題のある発言は制限する。

今回、誤解があったとするならば、まずは当事者同士の話し合いの時間を持つことが先決であったと考える。また個人間の争いならば、法的判断を仰ぎ解決する方法もある。

議会として、そして議員として再認識すべきことは、請願にあるように事実確認をし、冷静に判断して発言すること。また(全国町村議会議長会が発行している)議員必携には、自己の発言に責任を持つことが要求されており、発言は議会の品位を落とすものであってはならないとある。また個人情報を含む内容に関しては、特に慎重に対応すべきと考える。これらのことを肝に銘じ、今後も町民の皆様の負託に応えるべく信頼される議会となるように、更に取り組んでいく。

「松浪健一郎議員による公益社団法人鳩山町シルバー人材センターに対する度を越えた誹謗中傷と法人の自立権侵害及び業務妨害、越権行為等の即時停止に関する請願」
審議結果 「不採択とすべきもの」
別紙の附帯意見を付す

〈反対討論〉

松浪議員の質問に対して、理事長名で説明責任を果たすべき。当該法人は独立して経営できる団体と認定されている。元より議員が経営に関与する権限はないので、自立権侵害、業務妨害、越権行為には該当しない。

人権侵害については、既に請願者が専門家である弁護士や人権擁護審議会に相談しており、その結果を尊重したいので請願の必要はない。(関根)

この件は、請願とする前に双方で話し合うことで解決の糸口を探るべきであったという思いがある。紹介議員は請願者と議会との橋渡し役であり、話し合いの場を設けることに尽力すべきだったの

ではないか。請願審査については、付託された福祉文教委員会の審査を傍聴し、委員会での審査結果を尊重する。(大賀)

請願権は日本国憲法で保障された基本的人権の一つであるが、松浪議員の発言に対する当事者は法人であるシルバー人材センターであり、請願者の個人が一職員の立場で権利侵害を訴えるものではないと思う。

一方、松浪議員については、発言の誤った解釈があり、発言については改めて勉強して発言すべきだと思う。(清水)





教育委員会委員の任期満了に伴い、小峰洋氏（熊井在住）を再任することについて同意しました。

教育委員会委員に
小峰 洋氏



公平委員会委員の任期満了に伴い、吉田昌和氏（赤沼在住）を選任することについて同意しました。

公平委員会委員に
吉田 昌和氏



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 除は除斥 議は議長

令和5年第3回定例会 議案		議 員 氏 名											審議結果	
		清水 秀幸	関根 清隆	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	野田 小百合	石井 計次	根岸 富一郎	大賀 広史		石井 徹
町長提出	個人番号の利用に関する条例の一部改正 福祉医療費の助成等の事務手続きを定めるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 519万円を処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ8,580万9千円を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ319万5千円を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ1億42万3千円を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度下水道事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ225万円を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町道路線の廃止及び認定 公有財産の払い下げ申請に伴い、町道路線の廃止及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
	令和4年度一般会計歳入歳出決算認定 歳入総額63億8,636万円、歳出総額59億971万円	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	○	議	認 定
	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額17億2,071万円、歳出総額16億7,791万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額3億79万円、歳出総額2億9,938万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認 定
	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額12億6,282万円、歳出総額12億6,142万円	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議	認 定
	令和4年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額4,852万円、歳出総額4,716万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
	令和4年度浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額3,264万円、歳出総額3,241万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
	令和4年度水道事業会計決算認定 事業総収益2億7,560万円、事業総費用2億6,910万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定
	公平委員会委員の選任 吉田昌和氏の選任に同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意
教育委員会委員の任命 小峰洋氏の再任に同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
議員提出	松浪健一郎議員による公益社団法人鳩山町シルバー人材センターに対する度を越えた誹謗中傷と法人の自立権侵害及び業務妨害、越権行為等の即時停止に関する請願	●	●	●	○	●	●	除	●	●	○	●	議	不採択

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 ネット通販で物品購入による経費節約について
- 2 庁内サーバーからクラウドへの置き換えを提案する
- 3 適正な補助金・交付金について
- 4 相続時精算課税制度の対応について
- 5 健康事業の統合プロジェクトの提案

松浪健一郎 議員

- 1 政府が掲げる異次元の少子化対策として、3兆円以上の予算計上が予定され、子育て世帯が優先的に入居出来る住宅を、10年間で30万戸作る目標が掲げられている。これを活用した事業について
- 2 「子ども誰でも通園制度」について

大賀広史 議員

- 1 教育行政と子育て支援
- 2 防犯対策
- 3 空き家対策

森 利夫 議員

- 1 「クリーン鳩山」と「道路ふれあい月間」について
- 2 企業誘致について
- 3 多世代活動交流センターについて

根岸富一郎 議員

- 1 町の国民健康保険の財政について
- 2 鳩山町立幼稚園の給食について
- 3 町のデマンドタクシーについて

中山明美 議員

- 1 河川をきれいに
- 2 安心して集える場（児童館）の設置を
- 3 GIGAスクール構想のさらなる活用を

野田小百合 議員

- 1 子育て支援について
- 2 HPV（子宮頸がん）ワクチンについて
- 3 プラスチックごみの削減について
- 4 住民と共に、『高齢者等に優しい町・街』を考えてみないか

石井計次 議員

- 1 地域共生社会の実現に向けた取り組みについて
- 2 ヤングケアラーについて
- 3 ふるさと納税について

小鷹房義 議員

- 1 鳩山町の史跡、十郎横穴墓群について
- 2 森林総合研究所多摩森林科学園について

日坂和久 議員

- 1 来訪者を増加させるための町の呼び物について
- 2 生活しやすい環境の確保について

清水秀幸 議員

- 1 町の水道事業について
- 2 指定管理者制度について

DX／補助金

ネット通販で節約を、サーバーはクラウド化

NPO経由で通販も可、クラウド化進行中

決算では投資対効果を評価するのだが、補助金は有効に使われている?



関根 清隆 議員

問 経費節約ができるネット通販について、昨年、町長より前向きに検討したいと伺ったが、検討結果はいかがか。

答 80万円を超える競争入札では町の契約規定・事務決済規定などのため利用不可。随意契約でも複数社の見積書を取り選定、支払い方法などネット通販では難しい。一万円以下なら運用可能。

問 NPO法人を設立し、ネット通販との仲介となり見積書など、町の事務規定に対応すれば可能か。

答 競争入札参加資格者あるいは小規模契約希望者などになれば可能。

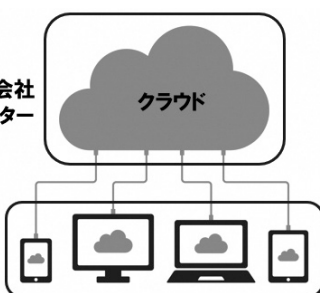
問 システム経費・管理・保守、データ保全にクラウド化(図1)が有利。クラウド化を提案する。

答 国のクラウド活用を第一候補とする基本方針に則り、検討している。住民情報、税情報などの基幹システムは既にクラウドに移行済。今年度はメールもクラウド化し、その他のシステムもリール期間終了後クラウド化

<図1>

情報処理会社
データセンター

町役場や
住民の
パソコン
スマホ



することを検討予定。

問 ①夏祭り、②自治協力団体交付金、③シルバー人材センター等への補助金・交付金の適正化と監査はどうか。

答 ①補助は商工会「納涼夏まつり」のみ。鳩山NTは個別の「地域の祭り」と共同合意されている。②各町内会・連合会の中で理解と合意を得ることが望ましい。③は「法令及び定款に従っている」と監査報告されている。

問 決算後に不用額が出る。人口割で各地域の祭りに補助金は出せないか。

答 自治協力団体交付金は世帯数に応じた設計となっている。

松浪健一郎 議員



異次元の少子化対策になるか？

子育て政策

「子ども誰でも通園制度」の実現は

前向きに対応したい

- 問** 政府が掲げる異次元の少子化対策として、年間3兆円以上の予算計上が予定され、子育て世帯が優先的に入居できる住宅を、10年間で30万戸つくる目標が掲げられている。これを活用して、ニータウンにある、JAXAの跡地をリノベーションして利用できないか。
- 答** 町の結論として、具体的な内容を検討できる段階にはない。まず、町所有の建物ではない。仮に建物を取得するにしても、現在、国庫納付の手続きが進められている段階だ。
- JAXAに聞いたところ、関東財務局による現地調査が今年3月10日に行われたが、国庫納付の事務手続きは進んでいない。
- つまり、いつ頃建物の売却を行うのが、分らない。ただ、国の支援策の具体的な内容が公表された時点で、実現の可能性も含めて、研究したい。



「子ども誰でも通園制度」が待たれる ひばり保育園

- 移住してくるビジョンは。
- 答** 今年、子育て支援プロジェクトを発足させた。自然豊かな中で、子育てしやすい環境を作り、移住促進を図りたい。
- 問** 「子ども誰でも通園制度」について、当町の保育園で対応できるか。
- 答** この制度のコンセプトとして、子どもの育ちを応援し、良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、働き方やライフスタイルに関わらない形で、支援を強化するために、就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度だ。町内には私立の保育施設しかないで、協力をお願いすることになるが、今後示される国の制度の内容を確認して、前向きに検討していきたい。



大賀 広史 議員

町が本気で取り組む姿勢を

空き家対策

特定空き家の件数は

ゼロだが今年度中に指定したい

- 少子化対策**
- 問** 今年度中には町内人口1万2000人台に突入する見込みだ。高校卒業後、家を出る若い世代の流出が町の大きな課題となっている。社会増の取り組みとして最終バス時間の延長を要望する。
- 答** 交渉はしているが、課題も多い。公共交通会議等で検討していく。
- 児童の熱中症対策**
- 問** 暑さ先進地域の町として、児童の日傘登校（晴雨兼用傘）を提案する。
- 答** 熱中症対策に有効と考える。現時点で一律に日傘を配布することは考えていない。
- 国指定史跡の「かまあと」**
- 問** 南比企業跡群とは読みづらく、親しみがわかない。「鳩山のかまあと」としてわかりやすく、当時の「かま」をCG等で再現映像資料を作成して、視覚に訴えるような、見て楽しい展示室を作り、復元古代窯や遺跡、拠点をつなげる取り組みを。
- 答** プロジェクトチームで準備していきたい。



歩道に大きく樹木が繁茂している管理不全の空き家

- 防犯対策**
- 問** 5月頃、侵入窃盗が多発した。住宅用防犯カメラ補助金を要望する。
- 答** 西入間警察署からの情報では、空き家にも金員等があるとの情報から、集団による窃盗が多発しているようだ。対策について、研究していきたい。
- 空き家対策**
- 問** 法改正により、管理不全空家が新設され、町が所有者に指導・勧告ができるようになった。町として本気で取り組んでいる空き家の件数は。
- 答** 調査・整理をした結果、340件だ。

クリーン鳩山等の今後

高齢化で協力できない場合は

無理のない範囲で協力を願いたい

森 利夫 議員



急激な高齢化で、農村部の地域コミュニティが崩壊寸前だ。早く手を打て！

クリーン鳩山、道路月間

問 毎年、クリーン鳩山は5月、道路ふれあい月間の草刈りは8月の最初に実施される。炎天下での草刈りは、熱中症等危険である。健康を考え時期をずらせないか。

答 各種活動は気候を配慮して、時期をずらすなど、無理のない範囲で対応してほしい。

問 近い将来、少子高齢化の影響で、地域として事業に協力できない状況が想定される。町はどのように対応するのか。

答 繰り返しになるが、無理のない範囲で協力をお願いしたい。

問 地域住民の一部の人は、もう体力的に出られない。町道は町が管理をしてくれないかと、切実な要望がある。今後生活道路の管理をどうするか。

答 生活道路まで町が管理するのは、費用的に困難である。新たな手段を検討する必要がある。

問 多面的機能支援事業補助金を活用して、生活道路等の管理に補助金が

出せないか。

答 農村地域の生活環境の整備や、良好な景観形成に必要な水田や畑、ため池等の除草作業であれば、事業対象となりうる。

問 生活道路の維持管理を続ける上で、適切な制度や補助金はあるか。

答 他の市町村の事例を参考に検討する。

企業誘致（仮宿地内）

問 建築形態規制の変更手続きの状況は。

答 8月9日、県の都市計画審議会で審議され、告示の手続きを進めている。まもなく変更手続きが完了する予定。



道路ふれあい月間中に、地域の人々で草刈りをした、ため池の現状。

河川の管理

河川の中に木が生えているが

今年度、伐採予定である

中山 明美 議員



川の管理は大事です

問 河川管理はどこが行っているか。

答 1級河川は国土交通大臣、2級河川は都道府県知事、準用河川や普通河川・水路は市町村長が管理する。

問 町が浚渫（しゅんせつ）等取り組んでいる河川はあるか。

答 町では令和3年度から国の緊急浚渫推進事業を活用して、準用河川の内川と普通河川の唐沢川において取り組んでいる。特例措置として令和2年度から令和6年度に限り充当率100パーセント、元利償還金に対する交付税措置率70パーセントの地方財政措置のある事業債が活用できる事業となっている。

問 整備の計画はあるか。

答 河川の定期的な巡視を行い、巡視等で発見した河川の支障となる樹木を含めた障害物の撤去や部分的な浚渫、除草業務などを適宜実施して適正な管理に努めていく。

大規模な浚渫工事等は、財政面の負担も課題とな

ることから、現在活用している緊急浚渫推進事業のような補助事業等があれば、活用できるように注視していく。

問 大橋川の中に木が生えている。災害のときに危険だし、環境もよくない。伐採はできないか。

答 土砂が堆積し樹木が繁茂していることを確認している。今年度、樹木を伐採する予定である。

問 鳩山の熊井付近にも土砂がたまっている場所がある。去年の7月12日の大雨で甚大な被害を受けている。町の管理ではないが、何かできないか。

答 鳩川の浚渫工事の実施については、今後県に要望していく。



木が生えている大橋川

※浚渫：河川などに堆積した土砂等を掘り上げる工事のこと



野田小百合 議員

安心して子育てできるよう、支援策を充実させたいね

0～2歳児保育料

第2子以降の無償化を

他市町村の状況を考慮し検討

- 問** 鳩山町では第3子以降は無償化しているが、本年度、該当する子どもの数及び町の負担額は。
- 答** 令和5年4月時点で19人。町の負担額は、試算すると約220万円。
- 問** 第2子から無償化した場合、町の負担額は。
- 答** 令和5年4月現在44人。年間で約450万円。
- 問** 第2子からの無償化を考えないか。
- 答** 町の財源確保が必要。他市町村の状況なども考慮し、検討する。
- プラスチックごみの削減**
- 問** 庁内でのマイボトル利用状況は。
- 答** 調査対象職員数が147人、利用率は約70%。
- 問** 公共施設等に水道直結型給水器を設置している自治体は。
- 答** さいたま市にある事業者が、県内9市と協定を締結し、給水器を設置。マイボトルを推進し、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。
- 問** 公共施設等に給水器の設置を考えないか。
- 答** 設置や維持管理にコ



とちのき通り歩道に設置されたベンチ

- ストがかかる。導入自治体の状況等を確認し、調査・研究を進めていく。
- ベンチの設置**
- 問** 設置状況は。
- 答** 高齢者の活動しやすい環境となり、必要な施設であると認識している。通行の妨げ、設置費用や維持管理も考慮する必要がある。道路上に設置しているのは数箇所のみ。
- 問** ベンチを設置して、高齢者等も安心して出かけられる優しいまちづくりを考えないか。
- 答** 道路幅員もあるが、材質の工夫など、住民の皆さんと意見交換しながら考えたい。



根岸富一郎 議員

蕨市では減免が多い

国民健康保険税

蕨市など国保法77条で減免しているのでは

財政事情はわからない

- 国保財政**
- 問** 被保険者の推移は。
- 答** 22年から24年生まれの団塊の世代の被保険者が後期高齢者医療保険へ移行する。特に全体の6割を占める65歳から74歳までの前期高齢者が後期高齢者医療保険に移行している。
- 問** 蕨市など法定外繰入は、国保法77条の減免ではないか。川越、坂戸市、越生町は、国保税の引き上げで対応。蕨市は減免が多い。
- 答** 財政事情はわからないが、歳入不足を補うため、独立採算制の原則から赤字解消すべきだ。
- 問** 県では何年度に、法定外繰入金が解消するか。
- 答** 8年度目指して取り組んでいくもの。
- 幼稚園の給食**
- 問** 小学校と同じに考えられない。量とか大きさについて栄養士の指導が必要だ。
- 答** 必要量、個数を減らすなど調整している。給食センター運営委員会などで意見を求める。



医療費気にしないで
病院へ行きたいね

- デマンドタクシー**
- 問** 町外の医療機関に運行できないか。
- 答** 埼玉医大行きは、スクールバスの代替で、例外的な認可。運行については今後も研究する。
- 問** 土日運行は、需要が少ないのではないか。
- 答** 1日平均19・1人、今年度は徐々に増えている。
- 問** 町外の入浴施設に運行できないか。
- 答** 協議を行う際には、近隣の市町等の利害関係者の調整が必要だ。かなりハードルは高い。

石井 計次 議員



求められるニーズの高い返礼品の開拓

ふるさと納税

町の収支はどのような

令和4年度、約639万円の赤字

ふるさと納税について

問 ふるさと納税は、返礼品となる特産品の有無で寄附額が左右される仕組み。「制度の存続を含め再考すべき」との声もある。本町の直近3力年の収支はどのようなか。

答 令和2年度の収支は約395万円。令和3年度の収支はマイナス約21万円。令和4年度収支はマイナス約639万円。

問 マイナス収支は、控除された税が他の自治体に流れてしまう。直近の税額控除の推移を伺う。

答 令和3年中は、448人、前年度比45%増の控除額約1460万円。令和4年は約1660万円と、増加傾向にある。

問 寄附の受け入れ額に対する経費割合を伺う。

答 令和4年度の返礼品調達費用約571万円他、運営事業者への委託料など、経費の割合は、49.4%

問 現状、マイナス成長にある。赤字解消には

ニーズの高い返礼品の開拓が求められる。見通しはいかがか。

答 今年度は町内の方によるデニム生地を使ったミニランドセルも始めたが、なかなか大きく返礼品の寄附額には反映できていない状況にある。

問 南比企業跡遺跡（本年、国指定）巡り。返礼品としてはいかがか。

答 鳩山町内を案内し、町内のお店で食事するツアー。返礼品として総務省の基準はクリアできると思う。あとは、南比企業跡群をいかにPRできるかということだ。



鳩山町ふるさと納税返礼品の1例（盛りだくさんセット）

町の財産

十郎横穴墓群は町の財産

鳩山を多くの方に売り出そう

小鷹 房義 議員



古代へのロマンを感じるなあ

鳩山町の遺跡、十郎横穴墓群について

問 なぜ、何のために使われたのか伺う。

答 十郎横穴墓群は、昭和54年4月25日に、鳩山村の指定史跡として指定された。平成2年と平成22年に発掘調査を実施して、三基の石棺が確認されている。

問 いつ頃のものなのか。

答 三世紀から七世紀頃の墓の一つであると考えられている。南側に向けて作られていることから現在、坂戸市入西地区を治めていた人物と関わりがあり、一定の地位にある人物の墓ではないかと考えられている。

問 南比企業跡群と関係があるのか伺う。

答 調査では、南比企業跡群との関わりを示すような遺物は確認されていない。十郎横穴墓群の埋葬者が渡来人と仮定するならば、南比企業跡群の成立・運営に関わった人物の墓である可能性は十分考えられる。

科学園について

問 赤沼実験林の現在の状況について伺う。

答 元は国有林で、昭和9年から林業試験場として試験栽培が開始された。現在は国立研究開発法人森林研究整備機構が所有する森林総合研究所多摩森林科学園赤沼実験林として管理などが行われている。

問 町との共同事業を研究所で行ってみたい。

答 現在校による観光振興に関しては、鳩山高校と連携したハトリライププロジェクトにより、町内の公共施設などにフクシマザクラ等の植樹を実施している。



草が繁茂している林業試験場

日坂 和久 議員



今までの憩の場を活かしつつ、新しい感覚も取り入れたエリアに……

農村公園エリア

エリアのあり方を見直しては

役割を終えた施設は条例廃止が必要

- 問** 農村公園を、国指定史跡と連結させたエリアの位置づけにしては。
- 答** 役割を終えたような公共施設は設置条例を廃止する必要がある。
- 問** 親水施設が使用不能だ。今後どうする。
- 答** 莫大な改修費用がかかる。何もできない。
- 問** 活性化施設を民間に貸し出し、町が賃借料を得る形態はいかがか。
- 答** 国の政策では、コンセッション方式として可能とされている。
- 商工会納涼夏まつり**
- 問** 打上花火が好評だ。感想を伺う。
- 答** 打上時間を長くすればもっと良くなる。
- 問** 規模拡大で町の呼び物にしたいが、町の協力はいかがか。
- 答** 主催の商工会で検討してもらい、町が協力する姿勢でありたい。
- 問** 経費確保のため、寄附型クラファン等、町の持つノウハウが必要だ。
- 答** できる範囲で、財政支援・人的支援に取り組む。

整備時の補助金の縛りは無くなっている農村公園



- 防炎行政無線**
- 問** 総務省は「聞こえない」対策として、戸別受信機を推奨しているが。
- 答** 財政的に困難だ。
- いじめ防止対策**
- 問** 小学校のいじめ認知件数が大幅増だが。
- 答** 4年度は、初期段階の対応強化で、看過されていたものを把握した。
- 廃棄物不法投棄**
- 問** 4年度は件数増だ。民有地の不法投棄廃棄物撤去に補助はあるのか。
- 答** 現制度では補助できない。

清水 秀幸 議員



生活に必要な不可欠なライフライン！

今後の水道事業

水道代、各地で値上げ・料金改定は

現在、料金改定の予定はない

- 問** 各地で水道料金の値上げ実施や検討が相次いでいる中、鳩山町の水道料金の見込みと方針について聞きたい。
- 答** 当町の水道料金の見込みとしては、人口減少とともに水需要が減少し、水道料金収入も減少している。2020年策定「第2次水道ビジョン」で示す通り、現状の料金水準を継続する場合、収益収支は2022年ですでに赤字。今後の水道料金は、経費削減と設備更新の工事等を抑制し、適正な資金残高を確保する事業運営に努めることで、現行の料金水準を維持する。現在、料金改定の具体的なプランはない。
- 問** 今後、水道事業の経営環境は厳しさを増す中、水道設備・管路の更新や修繕費に必要な財源確保について、どう賄うのか。
- 答** これからの施設・設備の更新の財源としては、将来世代に過度な負担とならぬよう自己財源及び事業規模に見合った企業債を組み合わせて確保す

水を大切に使いましょう。



- ることを考えている。
- 問** 水道事業の財政問題は他自治体も同様で、水道法改正により、「水道事業広域化」が進められており、鳩山町においても経営基盤の強化と安全な水を安定供給するため、早急に水道事業の広域化を推進するための具体的な行動に入るべきと考えるが、町長の考えは。
- 答** 比企ブロックの場合と毛呂山、越生の広域連携を図った場合について、それぞれの関係で、具体化に向けての課題はあるが、広域化の検討は必要と考えており、町にとってデメリットにならぬような広域化であれば、前向きに検討したい。

一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

坂戸地区衛生組合

8月10日定例会が開催されました。提出された議案は、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定、監査委員の選任についての2議案で、認定、同意されました。なお、監査委員には毛呂山町の小峰明雄氏が就任されました。

埼玉西部環境保全組合

8月7日定例会が開催され、令和5年度一般会計補正予算について、令和4年度一般会計歳入歳出の認定についての2議案でした。補正内容は歳入での繰越金の確定による増で歳入歳出の総額を19億6141万3千円としたものです。決算額では8681万9663円となっています。

西入間広域消防組合

6月22日第一回臨時会が開催されました。議長には毛呂山町の小峰明雄議員、副議長には、鳩山町の日坂和久議員が選出されました。提出された議案は、条例の改正を求めるもの1件、毛呂山消防団第5分団及び鳩山消防団第3分団の消防ポンプ自動車の取得に関する各1件の合計3件で原案どおり可決されました。

8月9日第2回定例会が開催されました。提出された議案は条例を改正するもの2件、令和5年度一般会計補正予算、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定について、監査委員の選任についての合計5件で、慎重審議の結果すべて原案どおり可決されました。監査委員には越生町の水澤努議員が選任されました。

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

6月15日臨時会が開催され、議長には毛呂山町の長瀬衛議員が選出されました。監査委員には鳩山町の森利夫議員が再選されました。

8月25日定例会が開催され、副議長に越生町の高橋一正議員が選任されました。提出議案は令和4年度決算認定、令和5年度補正予算案でした。組合では減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年より1・33ポイント増の50・9%となっています。

広域静苑組合

8月17日定例会が開催されました。令和4年度決算概要説明があり、決算の審議が行われ、一般会計歳入歳出決算は歳入2億3117万104円で歳出は2億1194万1802円になります。令和4年度の火葬件数は186件でした。

ご意見・ご感想 いただきました！

傍聴アンケートより

- 少子化対策、移住促進について、現状の対策では解決するとは思えない。(70代)
- 町議会は、町の将来像に対して、今どうすべきか、将来のビジョンに対して、今打つ手立ては何かを議論して欲しい。(70代)
- 一般質問は、実現可能性を自ら検討した上で、実現可能手段について提案した方が、実現に向けた方向性を明確にできると思うが…。(70代)
- 町民、子どもたちの目がイキイキとしていない。
日本全体、国民にとって不安が多く、希望を見出すことが少ない。(70代)

～関心のあることは～

- 子育て支援
- 少子高齢化問題
- 移住促進
- 町の将来ビジョンの構築

クイズアンケートより

- 若い人達が立候補してくれるような議会になって欲しい。若い人達が鳩山町を盛り上げていって欲しいと願う。(60代)
- 町民のあらゆる人が生き生きと活躍できる居場所と社会の実現に向けて取り組んで欲しい。(70代)
- 各議員、鳩山町の将来について、全力に取り組んで下さい。(60代)
- 水道管の老朽化、問題があるのでは、40年以上経過している。(50代)

※ご意見等を参考させていただき、議会活動に取り組んでまいります。



クイズに応募してね。
あなたの声・意見が聞きたいな。
待ってるよ！

暮らしに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま

町民と議員の

まちづくりカフェ

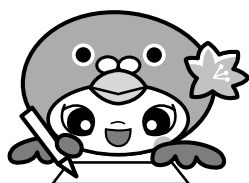
IN 地域包括ケアセンター 2023

幸福な地域助け合い社会の実現に向けて ～みんな幸せな町に～

鳩山町議会では町民の皆さまの声をお聞きし、町に政策提言や要望を行っています
コロナ禍で実施できなかった議会報告会を新しい様式でまちづくりカフェとして懇談会を実施します
どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください 議員一同、お待ちしております

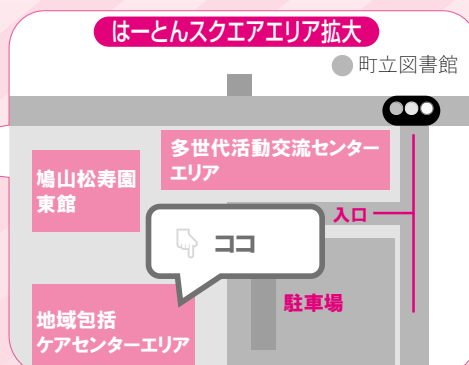
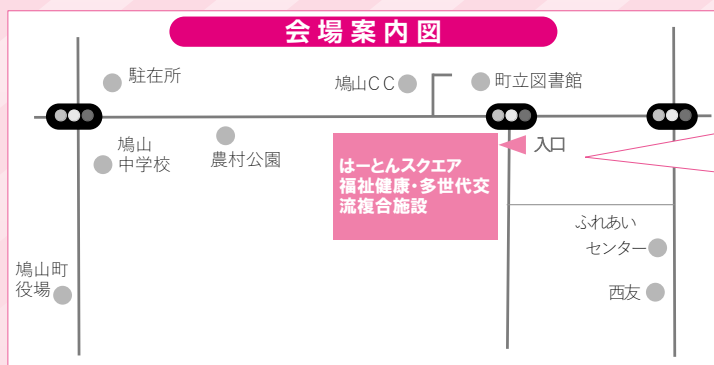
申し込みは
11月13日まで

令和5年 11月19日(日)



10:00～12:00

会場：鳩山町地域包括ケアセンター
地域の交流スペース



まちづくりカフェとは… テーブルを囲んで、お茶を飲みながら参加者同士が意見を出し合うというスタイルです

テーマ ①空き家問題、②災害対策、③少子化対策、④高齢者対策

上記テーマについて課題を共有し、これからの鳩山町を共に考えていきたいと考えています
ご参加していただける方は、お気軽に議会事務局まで、ご連絡ください



鳩山町議会

主催 鳩山町議会 申し込み先 鳩山町議会事務局 ☎049-296-1213

視察研修報告

9月19、20日に2つの委員会合同で長野県辰野町と長野県伊那市を視察しました。

総務産業委員会

空き家成約177件の辰野町へ視察研修

令和5年9月19日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

長野県辰野町を訪れ、空き家対策・移住推進について調査しました。

(1)辰野町の概要

辰野町は日本列島のほぼ中心、中央アルプスと南アルプスの間に位置し、自然豊かな町。人口約1万8千人。町内にはJR飯田線の4駅、JR中央線の3駅があり、国道153号線と国道、高速中央自動車道が通っている。平成から令和に入り、人口が2万4千人から1万8千人、世帯数約7600軒に減少していった。

(2)空き家対策の取り組み

「たつの暮らし相談室」

町は移住推進を重要施策として取り組み、町の職員は水道が止まっている約千軒を一軒一軒自転車で回り、細かく状況を

調査した。結果529戸が空き家だった。空き家も財産と考え、有効利用するために「たつの暮らし相談室」を開設し、ワンストップで相談にのる体制を作った。物件を空き家バンクへ登録してもらいウェブサイトで公開、地元の4不動産事業者と協力して空き家所有者と移住希望者とのマッチングを開始した。



HPで移住定住から、ライフステージにあわせてサポート！

(3)ユニークな制度と充実した支援策

家財道具の処分、リフォーム、仲介手数料の支援補助金等、きめ細かい支援策を用意した。マッチングでは売主・貸主が移住者を選ぶ「さかさま不動産」などの制度を活用した。

売買物件の価格は200万円～500万円。定住促進のため「移住体験」やDIYイベントなどを企画推進した。即ち、不動産所有者と移住希望者の両方の立場になつてきめ細かい支援をしている。

(4)移住実績

平成26年～令和4年の9年間で、空き家登録数238件、成約数177件。成約率約75%（全国平均は50%以下）と高い成約率となった。移住者は県内427人、県外から164人。

YouTube^{JP}で町の魅力や事例を紹介



(5)トビチ商店街

とびとびの店舗を連携し、空き店舗を利用してイベントを企画。仲間作りとまちおこしを実現。

（関根委員長）



長野県辰野町にて

《総務産業委員会》

視察研修を終えて

職員が情熱ある対応をしている「たつの暮らし相談室」は、有効な情報発信になっている。

また、空き店舗を借りて集まったイベントをきっかけに、お店を開いたり、遊びに来た人が開業したりしている。

（根岸）

5年間の空き家の成約率が7割余りと極めて高い。要因は、専任の職員を配置、お試し移住の実施、情報発信協力隊の存在など成功の「力ギ」を感じた。

（石井計次）

辰野町は中央・南アルプスに囲まれ、清流天竜川が流れ、自然環境良好。空き家物件価格も低廉で、東京との2拠点生活者も現れている。移住促進への職員の熱意にも感動。

（日坂）

空き家バンクの高い成約率の背景には、利用しやすい補助金等の制度設計、不動産業者との連携だけでなく、何よりも空き家を資源として捉えて取り組む職員の熱意によるものだった。

（大賀）

空き家バンクの取り組みについて、登録件数、その契約率の高さ、更には職員の取り組み情熱にも驚いた。環境や市場の違いはあるが鳩山町でも辰野町の手法を取り入れたい。

（石井徹）

常任委員会レポート

福祉文教委員会

切れ目のない子育てサポート

長野県伊那市

令和5年9月20日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

長野県伊那市を訪れ、「長野県一の子育てサポート」子育て支援について視察研修しました。

(1) ママヘルプサービス

家事や育児の支援を必要とする産褥期の母親のいる世帯にヘルパーを派遣することにより、精神的及び肉体的負担を軽減し産後の生活を支援する事業で、対象者は一歳未満の子を持つ保護者です。伊那市社会福祉協議会に業務委託されています。出産前の準備段階から、本人・ヘルパー・保健師で話し合いをするのとことです。

午前8時半～午後5時までの間で1時間～2時間、20日まで。1時間あたり3000円、個人負

担金5000円です。

令和4年度の利用者数は8人で直近3年間は大きな変化はありません。利用日数は、令和元年度56日でしたが、令和4年度は101日と増えているということです。

課題としては、ヘルパーの人数が少なく希望する頻度で訪問ができないこと、今後の利用者の増減予測が難しいことが挙げられています。

(2) 産後ケア事業

母子で医療機関、助産所に入所又は日帰りが必要な支援を受ける制度を利用できる。伊那市から補助が受けられます。対象者は

- ・ 出産後、身体的・心理的ケア及び保健指導・栄養指導が必要な人
- ・ 育児や授乳について、具体的な指導及び相談が必要な人
- ・ その他産後の経過に合った生活面等について

相談や支援を必要とする人

利用期間は、出産日の翌日から12カ月を経過するまで、利用日数は7日以内で、1日あたり利用料の10分の7に相当する額を補助します。

令和4年度の利用件数は11件、宿泊利用が多いとのこと。

利用できる医療機関、助産所が13施設あり、広域で連携して行っているそうです。

長野県が、助産所の設置費用を補助し、推進しています。

安心して出産できるように、困っていることに寄り添い、切れ目のない子育てサポートだと思えました。鳩山町も広域で医療機関、助産所等、施設の充実が必要であると感じました。

(中山委員長)



長野県伊那市にて



子育て支援策の説明を受ける委員

《福祉文教委員会》

安心して子どもを産み育てることができる環境・しくみ作りは、必須要件。伊那市は産後の支援体制の充実が素晴らしかった。鳩山でもできることから取り組みたい。

(野田)

長野県伊那市で、家事や育児の支援を必要とする母親に、精神的及び肉体的負担を軽減する、産後ケア事業を視察しました。育児の大変な母親の休息等、利用者全員の不安を改善できていることは高く評価したい。

(松浪)

9月20日伊那市での行政視察があり、子育てサポートについて学んできました。行政が育児支援という形でお母さんたちに寄り添い、共に子育てをしている姿がよくわかりました。

(小鷹)

安心して子どもを産み育てるための産後ケア事業の充実など妊娠・出産・育児に対する切れ目のない様々な伊那の施策。鳩山でもこうした取り組みをコツコツと行っていきたい。

(清水)



シリーズ いま、それ、気になるHATOYAMA vol.2 地域福祉懇談会

これからの鳩山町を考える ～ミライをつなぐ街づくり～

第3次鳩山町地域福祉推進プラン策定のための地域福祉懇談会が9月16日(土)、地域包括ケアセンターにて開催されました。

当日は地域福祉推進プランの概要説明のあと、10年後・20年後の鳩山町について、参加者によるグループワークで意見交換・発表が行われました。参加者からの意見をお聞きしました。

●理想の鳩山町

- ・孤独をなくすためのつながりを
安否確認 小さな単位で仕組みを作ろう
- ・高齢者・若い世代・障がい者も一緒にコミュニティを作ろう
- ・豊かな自然に恵まれた町
- ・安心・安全の町であってほしい

●理想の鳩山町に必要なもの

- ・遊休地の活用
公園の統廃合。残す公園は植栽等維持管理を行い、その他の公園は駐車場などに利活用へと見直すべき時だ
- ・若い世代の移住促進
企業誘致で働く場を。活気あふれる、楽しい催しを
- ・人づくりが大事。人材育成のシステムができればいい

●自分にできること

- ・テレワーク勤務など、働き方が変わりつつあるので、鳩山町をアピールしたい
- ・デマンドタクシーの病院運行など発展させるよう、声を上げていきたい
- ・隣近所に声をかける。あいさつをする

議会も、これらの意見を活かしたまちづくりに努めていきます。



グループワーク開始!



うん、そうそう



発表しまーす

次回定例会は11月28日から
(予定)

■請願、陳情は11月20日17時まで提出してください。

○新井 栄次郎 様
○田村 栄次郎 様
おめでとうございませう
161号の当選者お二人
おめでどうございませう

★前号の答え
①□ ②イ
(締切) 11月30日(木)
鳩山町大豆腐184番地16
〒350-0392
鳩山町大豆腐184番地16
議会事務局 クイズ係

●正解者の中から抽選で、お二人に町の特産品を差し上げます。
(応募方法)
はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」を記入してください。
(あて先)
〒350-0392
鳩山町大豆腐184番地16

問題1 まちづくりカフェの日程は?
11月18日(土)
11月19日(日)
11月20日(月)
問題2 行政視察研修先は?
群馬県
山梨県
長野県
問題3 議会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

議会クイズ

委員長 大賀 広史
委員 石井 計次
委員 松浪 健一郎
委員 小鷹 房義
委員 中山 明美
委員 清水 秀幸

第162号編集委員

議員として、6月に続いて2回目の定例会を迎え、傍聴席を見て思うのは、傍聴する人が少ないこと、議会に対する町民の興味関心が高まらないことを残念に思う。自分が投票した議員が議会で、どんな質問、発言をしているのか、本会議を傍聴し監視してもらいたい。議員は投票してくれた方々の代弁者でもあるのだから。しかし、平日昼間、議事を聴きに行きたくても、仕事を持つ町民にとって議場まで足を運ぶのは難しいもの。そこで、議会活動を広く知ってもらうために、議会のネット中継(ライブ・録画)の実施を検討したい。ネット配信は町民が議会を知る画期的な情報源となる。(清水)

編集後記



●鳩山町議会ホームページは「鳩山町議会」で検索してください。

令和5年11月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆腐184番地16)